

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成26年12月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

2014年を振り返って

大井 利夫

上都賀総合病院 名誉院長

日病・診療情報管理士教育委員会 特別委員

日本診療情報管理学会 理事長

午年の平成26年は、夏の猛暑と秋の大型台風襲来、集中豪雨に加えて御嶽山噴火などの甚大な自然災害に翻弄された年でした。診療情報管理士受講生の中にも、被災された方がおられるのではないかと心配しています。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

国会も集团的自衛権や消費税アップの影響などをめぐって論争が続きましたが、診療情報管理関係については、4月の診療報酬改定で新たに「診療録管理体制加算1」が認められるなど明るい評価も見られてきています。大晦の月にあたり、診療情報管理士をめざして修学中の皆さんにも関連するその幾つかを振り返ってみましょう。

2月に行われた認定試験の結果1752名が合格し、新たに診療情報管理士の認証を授与されました。合格率は47.8%と例年同様の厳しい状況が続いていますが、認定試験は資格試験ですので合格率の数値に臆することなく、来年受験される皆さんの一層の頑張りを期待したいと思います。

9月に盛岡市にて開催された第40回日本診療情報管理学会学術大会は、佐々木大会長が2016年10月に東京で開催されるIFHIMA(診療情報管理協会国際連盟)第18回国際大会を視野に入れて、世界に目を向けた診療情報管理を呼びかけた画期的な大会でした。今回も学生セッションに34題の発表があり、いずれも優れた内容で、診療情報管理の次世代を担う皆さんに大きな期待を感じさせてくれました。

来年の第41回大会は、9月17日18日に、岡山市にて土井章弘学術大会長の下で行われます。その時には、現在の受講生の多くが、診療情報管理士の認証を得て参加してほしいと願っています。

診療情報管理は、多くの専門職種が協力して患者さんを支える現在のチーム医療にあって、正確な情報を共有し医療の質を担保するために必要な条件であり、診療情報管理士は極めて重要な業務を担うと期待されています。本年10月に、バルセロナで開催されたWHO-FICネットワーク会議では、ICD-11への改訂と同時に、ICF、ICHIについても力強い取り組みが披露されました。世界の診療情報管理は、確実に前進しています。明日の診療情報管理士を目指す皆さんへの期待と夢を、WHO-FICネットワーク会議に参加して強く感じました。

来年は未年です。穏やかに、しかし強い意志を秘めて、明るい世界を開くために、互いに協力し合って前進したいものです。来る年が皆さんにとって良い年でありますように。

